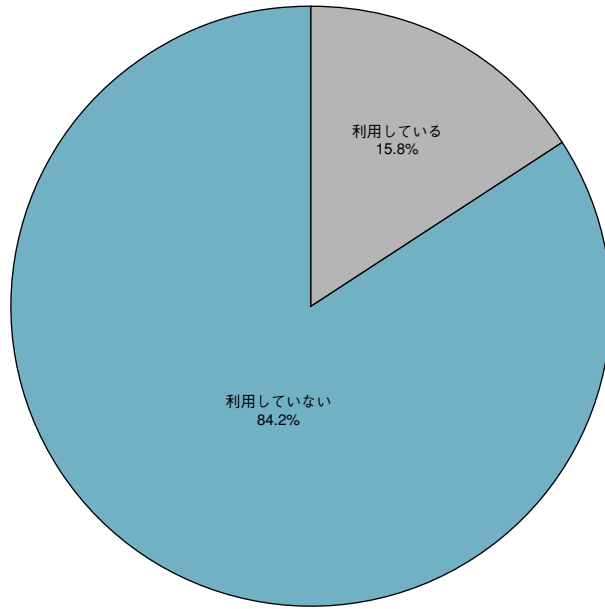


IP電話

IP電話は15.8%が「利用している」と回答

資料2-2-21 IP電話の利用有無 N=2,652

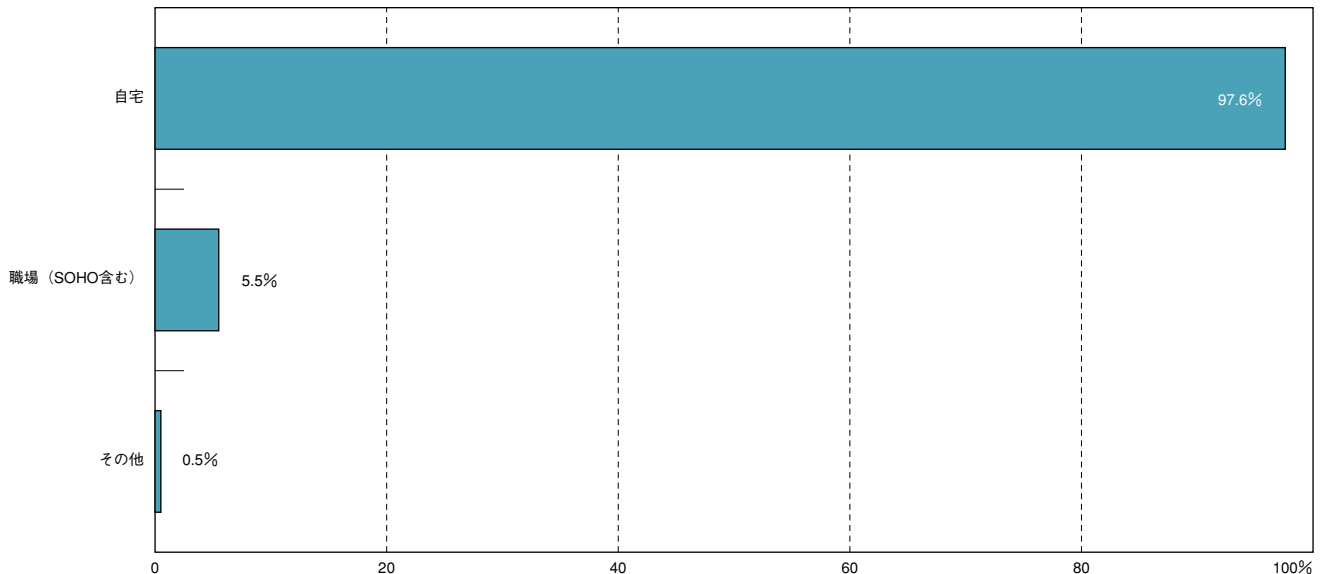


©Access Media/impress,2003

IP電話の利用状況を問う質問には、15.8%が「利用している」と回答した。7人に1人近くがIP電話を利用しており、IP電話の普及が徐々に浸透しつつあることをうかがわせる結果となった。

IP電話の利用場所は「自宅」が97.6%と大多数

資料2-2-22 IP電話の利用場所 N=420



©Access Media/impress,2003

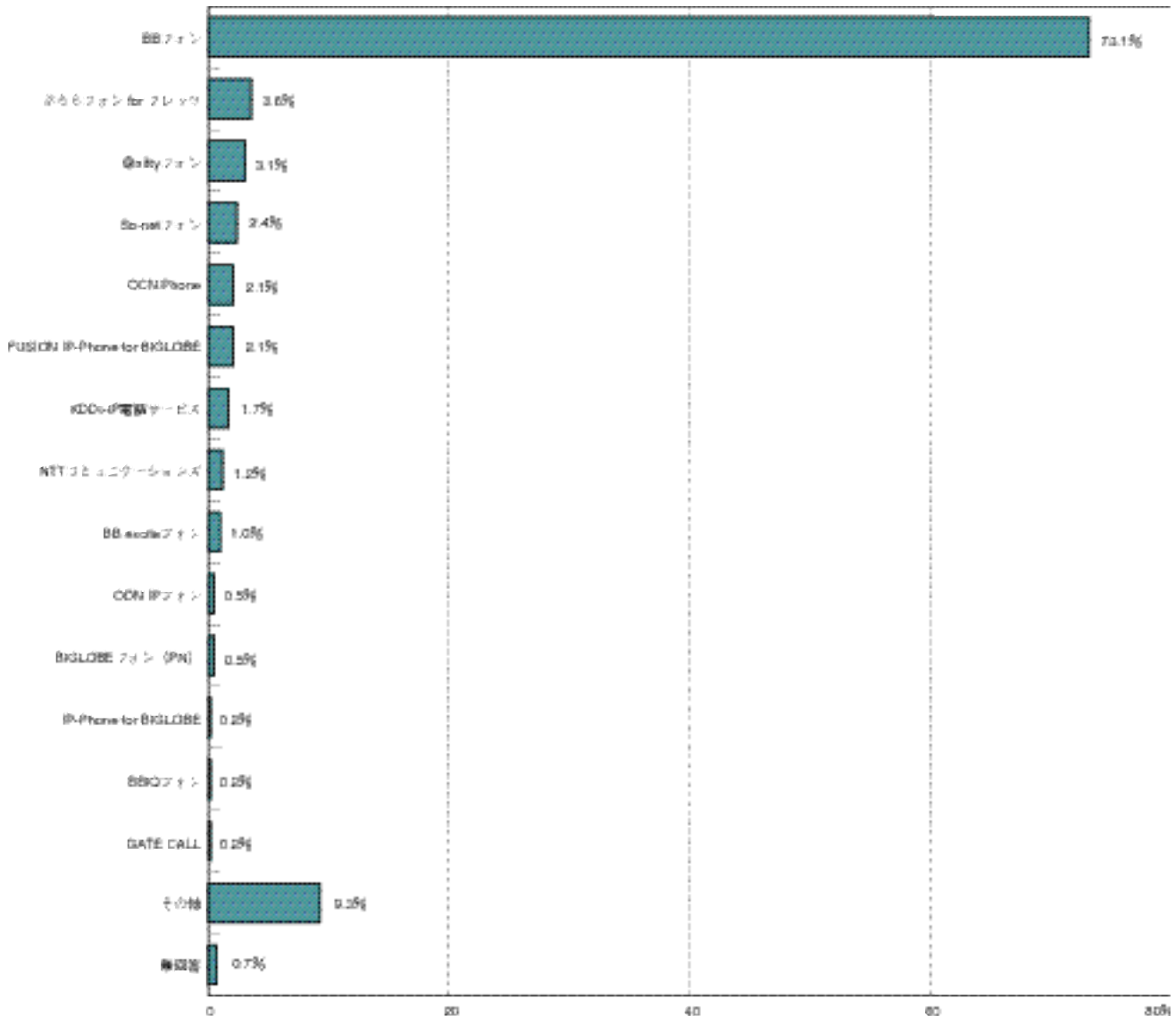
IP電話利用者にその利用場所を尋ねた質問では「自宅」という回答が、97.6%と圧倒的な大多数を占めた。SOHOを含む「職場」という回答は5.5%にとどまり、現状ではIP電話の利用シーンはホームユースがほとんどであるといえる。

インターネット白書 / ©1996-2012 Impress R&D

IP電話

IP電話サービスのシェア争いではBBフォンが一人勝ち

資料2-2-23 現在利用しているIP電話サービス会社 N=420



©Access Media/impress,2003

IP電話利用者に現在利用中のIP電話サービス会社を尋ねる質問では「BBフォン」が73.1%と圧倒的多数を占め、2位の「ぶららフォンforフレッツ」の3.6%というシェアを20倍近く引き離しており、BBフォン一人勝ちの状況が明らかになった。

日本の普及状況

個人の利用実態

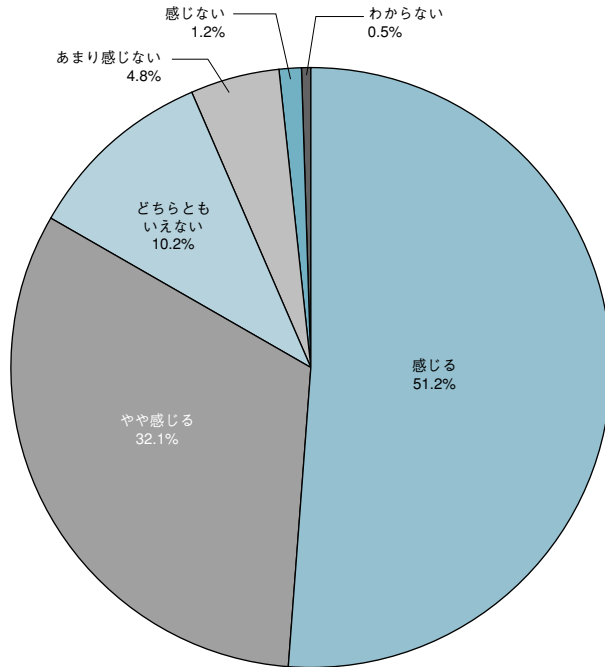
企業の利用実態

海外の普及状況

IP電話

IP電話利用者の大多数がメリット認識

資料2-2-24 IP電話利用者が感じているメリット度 N=420

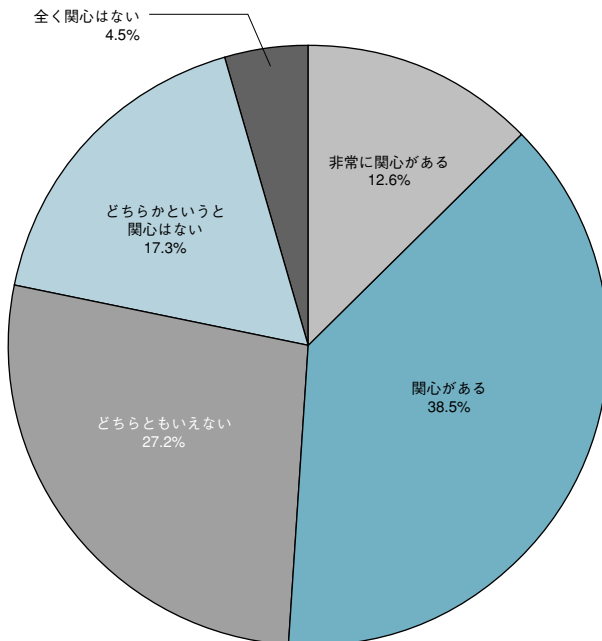


©Access Media/impress,2003

IP電話利用者にIP電話利用のメリットを聞いた質問では「メリットを感じる」という回答が51.2%と過半数を占めた。「ややメリットを感じる」という回答の32.1%と合わせ、80%以上の利用者がIP電話利用のメリットを感じている。

非利用者の過半数がIP電話に関心あり

資料2-2-25 非利用者のIP電話への関心度 N=2,232



©Access Media/impress,2003

IP電話非利用者に、IP電話への関心度を聞いた質問では、「非常に関心がある」が12.6%に上り、「関心がある」の38.5%と合わせ、IP電話非利用者においても、関心があるとする人の割合が過半数に上がっていることがわかった。

日本の普及状況

個人の利用実態

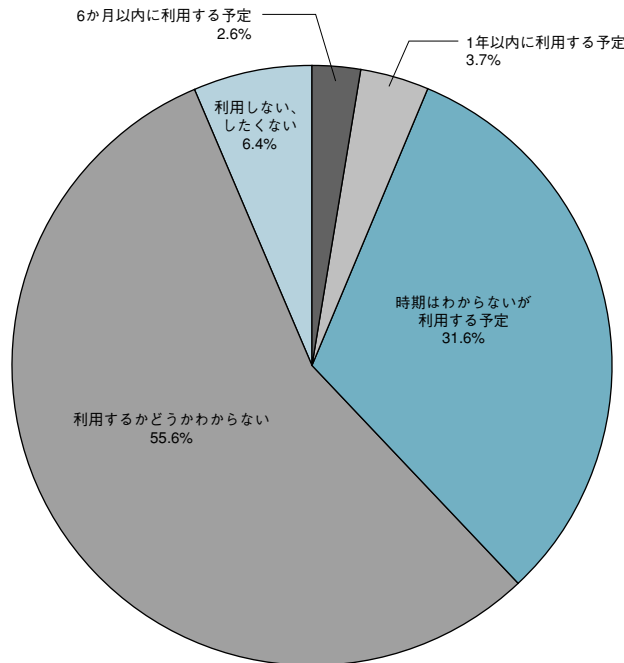
企業の利用実態

海外の普及状況

IP電話

IP電話は「いつかは利用」が38.9%

資料2-2-26 非利用者の今後のIP電話利用意向 N=2,232

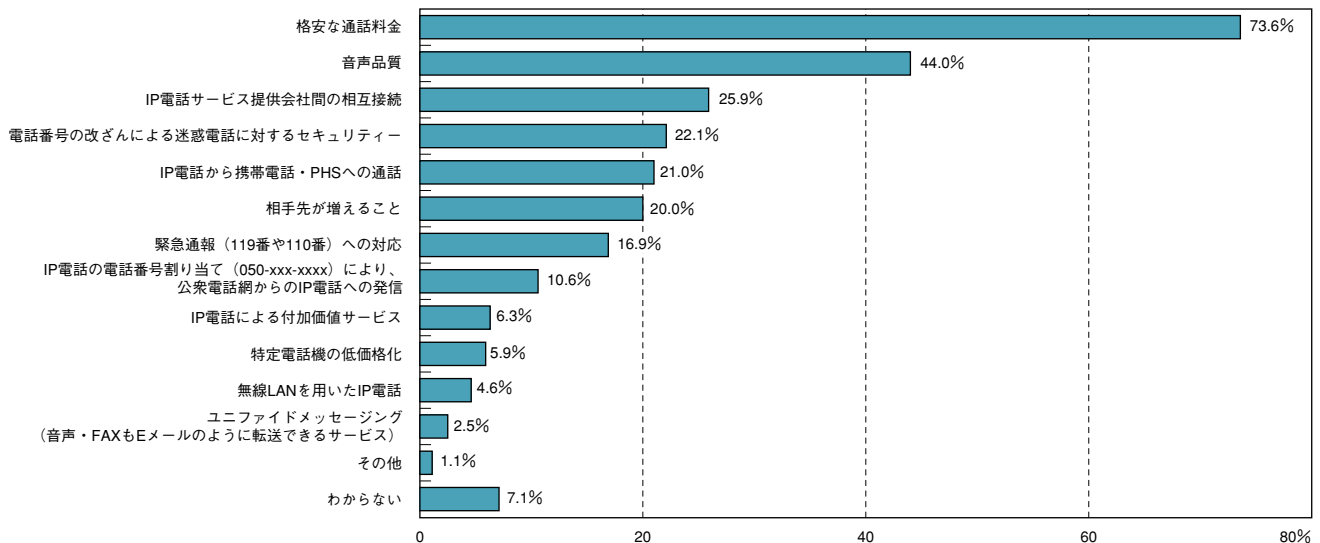


©Access Media/impress,2003

IP電話非利用者に今後の利用意向を聞いた質問では「6か月以内に利用」の2.6%、「1年以内に利用」の3.7%、「いつかは利用」の31.6%を合わせ、38.9%のユーザーに利用意向がある。「利用するかどうかわからない」とするユーザーも過半数。

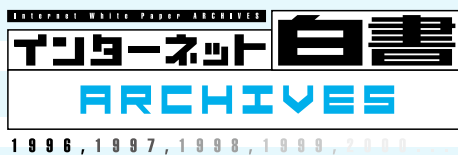
「格安な通話料金」がIP電話の最重要事項

資料2-2-27 IP電話の重要事項 N=2,652



©Access Media/impress,2003

IP電話における重要事項を問う質問では「格安な通話料金」という回答が73.6%で、現在は通話料削減がIP電話の最大のセールスポイントであることが確認された。「音声品質」や「IP電話会社間での相互接続」を挙げる回答も目立つ。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp